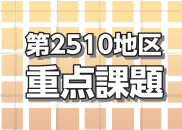




32

通巻 第2736号
2016年2月26日発行

1960年創立
昭和35年2月5日



●2015-2016年度 IRテーマ
世界へのプレゼントになろう

2015-16年度IR会長
K. R. ラビンドラン

- ①クラブ戦略計画への支援
- ②新会員のフォロー支援
- ③クラブサポート強化

●本日 2月26日 金のプログラム
◎小樽市内3クラブ合同例会
於 ニュー三幸 点鐘 17:00

●来週 3月4日 金のプログラム
◎吉田 圭司 氏(海上自衛隊余市防備隊司令)

●再来週 3月11日 金のプログラム
◎休会となります(定款6-1-C)

●第28回例会報告 2月19日 金 「小樽市内高校優秀卒業生表彰」 ■司 会 廣瀬副会長

■ロータリーソング 「四つのテスト」

■ゲスト・ビジターの紹介

青木 秀司様 (小樽桜陽高等学校校長)
優秀高校生13名の皆さま

■会長の時間 廣部会長

- 青木桜陽高校学校長様、お忙しい中をご出席いただきましてありがとうございます。そして、小樽市内高等学校優秀卒業生13名の皆様、お待ち申しておりました。小樽南ロータリークラブメンバー全員が、心より歓迎いたします。表彰式は食事の後に予定しておりますので、まずは、ゆっくりと食事をお楽しみください。
- 報告事項、3点ございます。1点目。今週の月・火と台湾3490地区から8名のメンバーが小樽にいらっしゃいました。当クラブからは、斎田ガバナー補佐、福島ガバナー補佐事務局長、石川・湊向事務局員さんと松浦国際奉仕委員長、そして、永原さん、佐藤さん、松尾さんの3名の女性会員と、加えて私共4役で、おもてないたしました。3名の女性会員の方には、何かと気を使っていたが、感謝申し上げます。2点目。台湾南部地震災害義援金をお願いが地区のほうからまいっております。最後に。地区米山記念奨学委員会より、当クラブに米山奨学生、世話クラブ引き受けのお願いがまいりました。小樽商大・修士課程に留学している、名前は、ス・テキアという女性で、中国・山東省出身です。奨学期間は、今年4月から来年3月末までとなっております。



■幹事報告 坂口幹事

- 余市ロータリークラブより、会報18号～27号が届いております。
- 来週の3クラブ合同例会点鐘は17:00からです 会場はニュー三幸3階となりますのでお間違えのないようご注意ください。

■委員会・同好会報告

◎IM実行委員会 見延実行委員長

- 郵便受けに「IM実行委員委嘱並びに第1回実行委員会開催のご案内」の文書を入れておきました。(※2/18夕方各委員長宛にFAXにて送付) 各委員長の役割担当は今日の会報に記載されています。各委員長はそれぞれ所属委員の皆さんの総力を結集し

て、準備と運営に当たって下さい。尚、遅くなっていますが、第1回実行委員会を3月2日(水)に開催しますので委員長全員の出席をお願いいたします。

◎野球同好会 紺谷会員

- 2月22日(月)午後6時30分より堺町通り「小樽たけの寿司」にて今年初会合があります。

■会長よりお祝いの言葉 廣部会長

○只今、表彰を受けられた、市内優秀高校生の皆さん、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、小樽桜陽高校・学校長の青木秀司様、お越しいただきありがとうございます。後ほど、ご祝辞をいただきたいと思っておりますのでよろしくお話し申し上げます。ここで、ロータリークラブについて、少しお話ししたいと思います。私の後ろに掲げてあるロータリーの旗をご覧ください。6本のスポークの歯車がシンボルマークとしてあらわされております。ロータリーという名も、最初のクラブが例会場所を輪番(ローテーション・持ち回り)で提供しあったことから、名づけられました。今から111年前、アメリカ・シカゴのことで、それから各地に次々とクラブが生まれ、国境を越えて、今では200か国に広がり、35,000以上のクラブ数になりました。私共、小樽南ロータリークラブが設立されたのは、今から56年前。早くも、その翌年に、この優秀卒業生表彰式の第一回目が行われました。名前が変わったり、途中から加わったりした学校もございますが、只今表彰を受けられた皆さんは、それぞれの学校の54名の素晴らしい先輩優秀卒業生の後に続くという、そんな榮譽を担っていくことになるわけです。それと共に、これからは、皆さんがそれぞれの学校の後輩に、憧れのまなざしを持って見つめられる立場にもなります。積み重ねられた歴史の重みというものを感じていただきたいと思っております。この受賞が、皆さんの誇りとなり、この先の励みとなることを心より望んでおります。本日は、おめでとうございます。

■来賓祝辞 青木秀司様 (小樽桜陽高等学校校長)

- 市内高校生は、ここにいる13名だけではなく、すべての高校生が皆、それなりに一生懸命自分の夢、あるいは希望の実現のために頑張っています。中でもとりわけ、ここにいる13名が選ばれたことは、後に続く子供の大きな励みになりますので、どうか市内に高校生がい続ける限り、この表彰を続けていただけて励みにしていただけたらと思います。高等学校としても、皆様をお願いするだけではなく、子供達の学びをしっかりと保障する研鑽を重ねていく所存でございますので、今後とも高校生のためにご支援をよろしくお願いいたします。





小樽市内高校優秀卒業生表彰

●北海道小樽潮陵高等学校 定時制

浅井 琢磨 (アサイ タクマ)

家庭の事情で当初登校していた全日制高校を中退し、その翌年に本校に入学し直した。入学当初から向学心が旺盛で、常に成績上位に名を連ね、部活動ではバドミントン地区団体準優勝に貢献した。資格取得にも積極的でワープロ検定・簿記検定の3級に合格した。この2月の簿記検定での2級合格に向けて、努力を続けている。

●北海道小樽工業高等学校

植村 瑠太 (ウエムラ リュウタ)

穏和で真面目な生徒で入学以来皆勤である。バドミントン部部长としてリーダーシップを発揮して、高体連南北北海道大会ではシングルスで2年連続ベスト8に入った。学習面でも全ての教科において努力し好成績を残した。多方面に渡り責任感を持って行動できる人物であり、他の生徒の模範となっているため推薦いたします。

●北海道小樽桜陽高等学校

荻田 詩織 (オギタ シオリ)

明るく、思いやりの気持ちの溢れた人物である。周囲の状況を把握し、的確な言動がとれる。視覚障害のため拡大読書機等を使い学校生活を送っている。長時間の家庭学習で補いながら学習に励み好成績を収め、大学への進学も勝ち取った。本校の生徒にもたらした刺激は大きく、真に充実した高校生活を送った生徒として、推薦に値する。

●北海道小樽商業高等学校

小林 百佳 (コバヤシ モモカ)

成績は極めて優秀で最上位のランクにある。また、本校の教育目標の柱の一つである資格取得においても、顕著な結果を残した。部活動に関しても、ボランティア同好会、新聞局で精力的に活動した。さらに、基本的な生活習慣も確立しており、3年間学校生活に真面目に取り組んだ。全校生徒の模範となる生徒であり、ここに推薦する。

●北海道小樽工業高等学校 定時制課程

田岡 穂香 (タオカ ホノカ)

知的好奇心が旺盛な生徒である。アルバイトと学業の両立に加え、資格試験にも挑戦し、多くの資格を取得する事ができた。また進路活動にも熱心に取り組み公務員試験にも合格する事ができた。成績面は、言う事なしで、4年間クラスのトップに立ち続けた。優しい性格の持ち主で、学校外でのボランティア活動にも多数参加した。

●北海道小樽桜陽高等学校

高野 春香 (タカノ ハルカ)

素直な性格で周囲に気配りができる生徒であり、何事に対しても着実に取り組む努力家である。両感音性難聴という障がいを感じさせず授業にも集中して臨み、学習面において、全ての教科で3年間安定した成績を収めたことは立派である。また、特に英語に関する興味関心が強く、実用英語技能検定準2級も取得している。

●双葉高等学校

當宮 怜 (トウミヤ レイ)

明朗で社交的な性格であり、大局的に物事を促して論理的に考えることができる人物である。学校生活では、生徒会に所属し、学校行

事の質の向上や、学校の発展に貢献してきた。また、学業面においても優秀な成績を収めた。今後は同志社大学に進学し、向上心をもって学修し、社会に貢献するものと思われる。

●北海道高等聾学校

昌山 美緒 (ハタケヤマ ミオ)

何事にも一生懸命に取り組むことができる生徒です。学習面では常に優秀な成績をおさめ、漢字検定や英語検定などの資格取得にも努力しました。また、美術部に所属しており、高文連の全道大会に出場した経験もあります。卒業後は大学に進学して社会福祉を学び、将来、地域社会で活躍することを期待しています。

●小樽高等支援学校

本間 千晃 (ホンマ チアキ)

温厚、真面目な生徒で、率先して学習に取り組み、学級の他の生徒の模範となっています。卒業後の就職のため、校内での作業学習や、校外での職場実習などに積極的に取り組んでいます。また、放課後はバスケットボール部に所属し、大会入賞に貢献しました。立派な社会人となるよう、日々精進しています。

●北海道小樽潮陵高等学校

三熊 花菜 (ミクマ カナ)

やさしく明朗であり、他者を尊重する態度を有し、多くの友人から好感を持たれている。地域の諸問題に関心を持っており、将来は公務員として故郷の小樽をより活性化し住みよい地域となるように貢献したいという夢を抱いている。在学中は3年間硬式テニス部に所属し、進路は小樽商科大学への進学が決定している。文武両道を実践した本校を代表する生徒である。

●北海道小樽水産高等学校

屋敷 晃 (ヤシキ ヒカル)

三年次に生徒会長を務め、各種行事等を成功に導いてきた。落ち着いた物腰の柔らかい生徒で、周囲からの信頼も絶大である。学習面でもよく努力し、常に上位の成績を修めてきた。生活態度も申し分なく、三年間皆勤である。卒業後は本校専攻科に進学し、さらに専門的な知識を身につけ、より高度な資格取得を目指している。

●小樽明峰高等学校

吉田 安祐美 (ヨシダ アユミ)

高校1年後期より生徒会執行部に属し、3年時より生徒会長を務めた。明るく活発で誰からも好かれる生徒あり、成績も学年10位以内に必ず名前が載るので周囲からの信頼もあつい。情報大学に特待生として合格し、大学卒業後は総合病院の事務職に就きたいと考えている。将来、有望な生徒である。

●北照高等学校

渡邊 祐希 (ワタナベ ユウキ)

3年間女子サッカー部に所属し、全道大会の上位入賞に貢献するだけでなく、学業面においても常に学年の上位を維持し続けた。さらに3年次には生徒会役員として校内で力を発揮したことはもちろん、ボランティア活動にも積極的に取り組んだ。加えて、温厚で社交的な人柄から学年を問わず周囲から愛されている人物である。